

声かけ・不審者事案に即応する青パト活動 ～寒河江市防犯協会寒河江支部～

寒河江市は、山形県のほぼ中央に位置する人口約4万3,000人の農業中心の町です。素晴らしい景色と、初夏にはさくらんぼ、夏にはぶどうと桃、秋にはラ・フランスとリンゴ、そして米などの食材に恵まれ、1年を通して心も体も癒される満足感溢れる町です。

当支部は、平成22年4月に寒河江市町会長連合会から分離独立し、こどもの見守りを中心とした活動をしています。一昨年、寒河江警察署から「青パトで市民の安全・安心を守る活動をしてはどうか」との助言をいただき、青パト隊を結成することとし、申請手続きを経て、平成23年7月から青色防犯パトロール活動をスタートさせました。現在、青パト11台隊員11名で活動しています。

日々の活動は、隊員が週に1～2回、児童の登下校時間帯を中心に、自分が活動しやすい時間にパトロールしています。夕方から夜間にかけてのパトロールも多く、高齢者の見守りや、学生の「たむろ」防止を目的とした活動にも力を入れており、声かけによる注意喚起も行います。

また、管内で声かけ・不審者事案が発生した時には寒河江警察署から連絡をもらい、町内会長等にも連絡した上で、パトロールを強化しています。昨年も数件の声かけ・不審者事案が発生していますが、年々減少しており、青パト活動の効果があったのかなと嬉しく思っています。



こどもの安全・安心を守る喜び、守られている喜びを互いに感じる



「この青いライトは何？」と興味がられた青パトも、こどもから「青パトのおじちゃんありがとう」などと挨拶されるようになり、青パト活動が地域から理解されていることを実感しています。また、地域住民やパトカーで警ら中の警察官からも「ご苦労さま」と挨拶され、青パト活動をしていることに誇りを感じています。そのお陰で、隊員は「より生き生きした青パト活動をしたい」と、いつも高い士気で活動しています。

昨年8月、寒河江市内の防犯協会8支部の青パト隊で連合体を結成し、相互の連携を強化しました。また、他市町村の青パト隊との情報交換会を開催するなどして、隊員の意識向上を図っています。今後は、寒河江市内で青パト100台を目標に、青パトの更なる普及拡大と、より良い青パト活動に向けて取り組んでいきます。

(文～寒河江市防犯協会寒河江支部 副支部長 木村 二男)

【編集後記】まだまだ寒い日が続きますので、体調管理と交通事故には十分留意して活動されますようお願いいたします。／次号の団体紹介は「南陽市（市役所）」の予定です。／日本財団では、青パト（軽自動車）の購入資金の助成を行っています。資料を添付しますので、活動の参考としてください。

【山形県内の青パト情勢】
(平成25年1月末現在)
青パト団体数：80団体
青パト台数：1,014台